

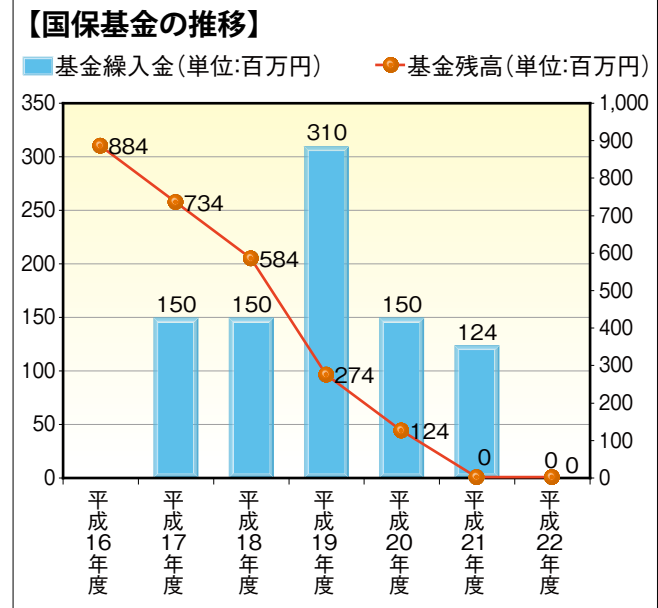


# 国民健康保険税の引き上げについて ご理解をお願いします。

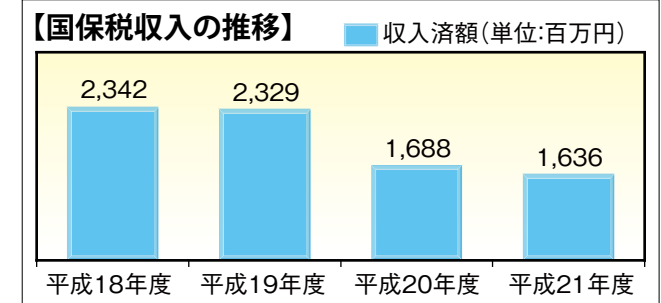
## 国保税引き上げの理由

①これまで赤字補てんを行ってきた「国民健康保険基金 8.8億円」を使い切りました。  
\*赤字補てんとして、これまで毎年「1億5千万円」程度を使ってきました。

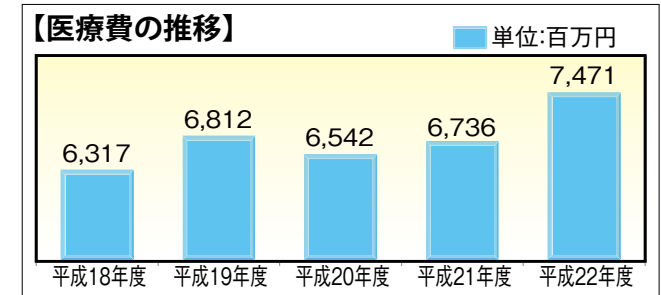
②景気の低迷などにより所得が伸びず「国保税」の伸びが期待できません。  
\*平成20年度の国保税が減額となっているのは、75歳以上の被保険者が後期高齢者医療制度へ移行したため。



基金は、毎月の療養給付費の3カ月分(21億円)を保有することが健全な運営とされています。

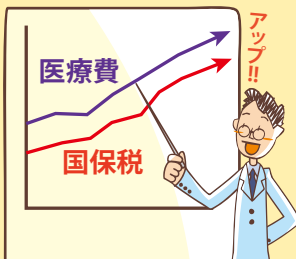


③平成21年度の医療費は、平成20年度と比較して「3%程度(年間2億円)」増加しています(平成22年度は見込)。



## 医療費が増えると国保税も引上げに!

国保税は医療費の推計を基に決め、加入者が病気やけがをしたときの医療費に充てます。  
日ごろから健康づくりを心掛け、「医療費を節約」しましょう。



## 医療費を有効に使うためのポイント!

- 1 同じ病気での重複受診はやめましょう。
- 2 かかりつけ医を持ちましょう。
- 3 薬をたくさん欲しがるのはやめましょう。
- 4 診療時間内の受診を心掛けましょう。
- 5 年に1回は健康診断を受けましょう。
- 6 お医者さんを信頼し、指示を守りましょう。

## 国保会計について

原則、国・県などの公費と国保税で賄うこととなっていますが、これでは不足するため、市の一般会計から法定外繰入(法律で定められた以外の特別な繰入)として、平成21年度は2億3千万円を、平成22年度から平成24年度までは、毎年2億5千万円を繰り入れることとしました。

## 国保税値上げに関するQ&A

- Q** 中学生以下の医療費を無料にしたから、国保税が値上げになったのではないかな?
- A** 中学生以下の医療費は自己負担分を無料にしたもので、国保会計から医療機関に支払う医療費は変わりません。また、早期に受診することで早く完治し、結果的に国保会計から医療機関に支払う医療費の総額が少なくなる効果もあります。

【問合先】=本庁国保介護課 ☎(23)5111(内線2641)

# 薩摩川内市国民健康保険の現状

国民健康保険事業は、国民健康保険被保険者の医療費などを賄うため、一般会計とは別の特別会計で運営されています。歳入(入ってくるお金)は、国保税、国・県・支基金などからの補助金、一般会計からの繰入金(法定分)などで、歳出(支払うお金)は、保険給付費(医療費)、後期高齢者支援金、前期高齢者納付金、老人保健拠出金、介護納付金、共同事業拠出金、保健事業費などです。

これまで、毎年度、単年度収支は赤字で、基金からの繰入金で対応してきましたが、その基金も尽きてしまいました。そこで、平成22年度は、一般会計から2億5千万円の法定外繰入(法律で定められた以外の特別な繰入)をし、併せて、国保税の税率改正を行いました。国保事業の運営にご理解とご協力をお願いいたします。

なお、平成21年度の繰越金3億5千万円は、平成22年度以降の運営に充てます。  
今回は、平成21年度の国保運営状況などについて紹介します。

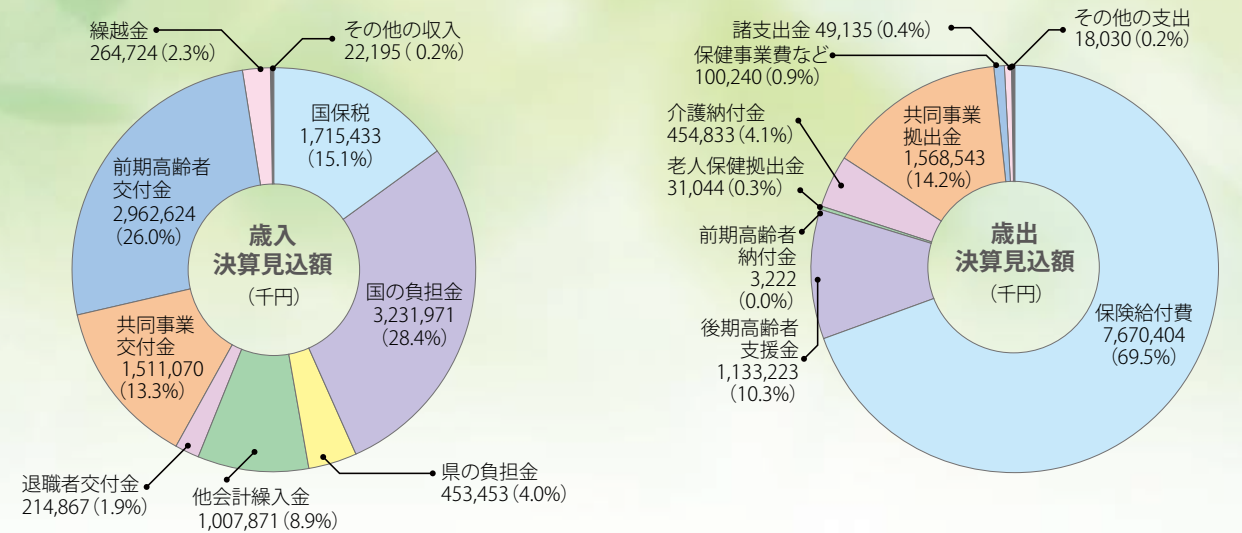
## 1 被保険者数の推移

年度	区分	世帯	被保険者総数(人)	一般被保険者		退職被保険者など(人)
				老人医療受給者(人)	左記以外の者(人)	
平成19年度平均		22,968	39,106	13,475	20,317	5,314
平成20年度平均		15,930	25,287	0	24,355	932
平成21年度平均		15,359	25,328	0	24,239	1,089

\*平成20年度から、老人医療受給者は後期高齢者医療制度へ移行しています。

## 2 国民健康保険事業予算の仕組み(平成21年度決算見込)

(単位:千円)



## 3 国民健康保険事業特別会計 単年度収支の状況

(単位:千円)

区分	平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度決算	平成20年度決算	平成21年度見込
歳入総額 ①	10,004,997	10,885,283	12,113,913	11,158,402	11,384,208
歳出総額 ②	9,730,047	10,618,011	11,852,650	10,893,678	11,028,674
収支差引(①-②) ③	274,950	267,272	261,263	264,724	355,534
基金・財政支援繰入額 ④	150,000	150,000	310,000	150,000	353,234
前年度繰越金 ⑤	246,477	274,950	267,273	261,263	264,724
基金積立金 ⑥	172	826	1,729	922	208
公債費 ⑦	13,704	13,704	13,704	13,704	13,704
単年度収支(③-④-⑤+⑥+⑦) ⑧	△107,651	△143,148	△300,577	△131,913	△248,512
基金残高 ⑨	729,549	580,375	272,104	123,026	0

\*単年度収支⑧は赤字となっており、基金残高⑨は枯渇し0円となりました。  
\*単年度収支とは、当該年度の収入から支出を差し引いた額で、前年度繰越金や赤字補てんのための繰入金などを除いた額です。  
\*平成21年度は、一般会計より法定外の繰入を2億3千万円行いました(④に含む)。